

＜中間評価のための調査について＞

1. ならの患者体験調査について	
目的	奈良県で、平成25年度に実施した「がん患者意識調査」と比較し、がん対策の進捗状況の評価や、必要なところに対策を講じる資料とする。今回は、がん患者のみではなく、がん以外の患者も調査対象とする。
対象	入院、外来中のご本人 約2,000人
調査期間	平成27年9月1日（火）～平成27年9月30日（水）の1ヵ月間 回答締切：平成27年10月9日（金） 消印有効
調査方法	協力医療機関から、患者に調査票と返信用封筒を手渡していただき、患者本人が調査票に記入後、郵送で提出
調査協力医療機関	県内のがん診療連携拠点病院・支援病院、その他がん診療を行っている医療機関 44施設
調査結果	県下全体の結果について報告書の作成と県ホームページへの掲載

2. ならのがん在宅療養に関する診療所調査について	
目的	平成26年度、在宅療養中のがん患者を対象に調査を実施し、在宅医療や訪問看護について現状を把握した。今年度は、診療所を対象に課題を抽出し、必要な対策を講じるための基礎資料とする。
対象	平成26年度 ならのがん在宅医療機能調査で、がん患者の診察について「実績がある」及び「できる」と回答のあった診療所 県内189施設
調査期間	平成27年9月1日（火）～平成27年9月30日（水）の1ヵ月間 回答締切：平成27年10月9日（金） 消印有効
調査方法	業者より直接、調査票と返信用封筒が郵送されるので、調査票に記入後、返信用封筒で県保健予防課あて郵送
調査結果	県下全体の結果について報告書の作成と県ホームページへの掲載

<中間評価のための調査について>

3. ならのがん患者リハビリテーションに関する病院調査について	
目的	がん患者のリハビリテーションは、医療従事者が患者及び家族のQOLの向上のために必要な、がんによる直接的な影響や手術療法、化学療法、放射線療法等による身体的な障害並びにこれらに伴う運動療法や生活機能の低下に対する予防・改善等を目的としている。 奈良県において、がん対策の進捗状況を評価するため、県内の医療機関におけるがん患者リハビリテーションの実態について把握する。
対象	県内の医療機関 77施設
調査期間	平成27年9月1日(火)～平成27年9月30日(水)の1ヵ月間 回答締切：平成27年10月9日(金) 消印有効
調査方法	業者より直接、調査票と返信用封筒が郵送されるので、調査票に記入後、返信用封筒で県保健予防課あて郵送
調査結果	県下全体の結果について報告書の作成と県ホームページへの掲載

4. ならのがん診療に関する拠点・支援病院調査実施について	
目的	がん診療体制の充実として、化学療法についての更なる質の向上を図るため、がん診療連携拠点病院・地域がん診療連携支援病院における抗がん剤のばく露対策等について実態を把握するとともに、短期術後成績について「質の高い」「安全な」観点で外科的評価を実施することを目的とする。
対象	県内がん診療連携拠点病院・地域がん診療連携支援病院 8施設
調査期間	平成27年9月1日(火)～平成27年9月30日(水)の1ヵ月間 回答締切：平成27年10月9日(金) 消印有効
調査方法	業者より直接、調査票と返信用封筒が郵送されるので、調査票に記入後、返信用封筒で県保健予防課あて郵送
調査結果	県下全体の結果について報告書の作成と県ホームページへの掲載